

議題 小中学校の適正配置の地区別の考え方について

1 西部地区

小学校（6校）

ア 西部中学校区 春日井小学校、牛山小学校、松山小学校

イ 知多中学校区 山王小学校、味美小学校

ウ 味美中学校区 味美小学校、白山小学校

春日井小学校及び松山小学校については、現在及び推計においても適正規模（24クラス）を超えているが、過大規模（31クラス以上）とはならず、徐々に減少していく傾向にある。

牛山小学校、山王小学校、味美小学校及び白山小学校については、適正規模の範囲内であり、現在も推計でもほぼ同じ規模で推移していく。

中学校（3校）

西部中学校、知多中学校、味美中学校

西部中学校については、春日井小学校と松山小学校の状況から、必然的に大規模（25クラス以上）から過大規模の状態に向かう傾向となっているが、両小学校はともに減少に転じる状況にある。

知多中学校については、適正規模の範囲内であり、現在も推計でもほぼ同じ規模で推移していく。

味美中学校については、現在、適正規模（12クラス以上）を下回った規模であり、今後も同様の規模で推移するが、単学級（1学年1学級）となるほどの小規模とはならない

2 中部地区

小学校（9校）

ア 中部中学校区 勝川小学校、小野小学校、上条小学校

イ 鷹来中学校区 鷹来小学校、大手小学校、西山小学校

ウ 柏原中学校区 鳥居松小学校、柏原小学校、丸田小学校

勝川小学校、小野小学校及び上条小学校については、今後増加傾向を示しており、中でも勝川小学校は適正規模を上回る可能性がある。

柏原小学校については、現在は適正規模を超えているものの、今後は適正規模の範囲内に落ち着いていく傾向にある。

鷹来小学校、大手小学校、鳥居松小学校及び丸田小学校については、現在及び推計においてもほぼ同じ規模若しくは若干の増加又は減少して推移するものの、いずれも適正規模の範囲内である。

西山小学校については、適正規模を下回っており、今後も同様の規模で推移するものと思われるが、全学年が単学級となるほど小規模化が進むものとはならない。

中学校（3校）

中部中学校、鷹来中学校、柏原中学校

中部中学校については、校区とする勝川小学校、小野小学校及び上条小学校の状況から、必然的に大規模から過大規模の状態に向かう傾向となる。

鷹来中学校については、適正規模の範囲内であり、現在も推計でもほぼ同じ規模から若干増加して推移していく。

柏原中学校については、現在適正規模の範囲内であるものの、特に柏原小学校の状況にもよるが、今後は適正規模を上回る状況になる。

3 東部地区

小学校（8校）

- ア 東部中学校区 篠木小学校、八幡小学校、篠原小学校
- イ 松原中学校区 松原小学校、東野小学校、（丸田小学校、西山小学校）
- ウ 南城中学校区 篠原小学校、神領小学校、北城小学校、出川小学校

松原小学校、東野小学校、篠木小学校、篠原小学校、神領小学校及び北城小学校については、現在及び推計においてもほぼ同じ規模若しくは若干の増加又は減少して推移するものの、いずれも適正規模の範囲内である。

出川小学校については、今後増加傾向を示しており適正規模を上回る可能性がある。

八幡小学校については、現在、適正規模を下回っており、今後も同様の規模で推移するものと思われるが、全学年が単学級となるほど小規模化が進むものとはならない。

中学校（3校）

東部中学校、松原中学校、南城中学校

南城中学校については、校区とする、神領小学校、北城小学校及び出川小学校の状況から、大規模の状態に向かうことが見込まれる。

東部中学校及び松原中学校については、推計において増加傾向が見られるものの適正規模の範囲内である。

4 高坂地区

小学校（5校）

ア 坂下中学校区 坂下小学校、西尾小学校、神屋小学校

イ 高蔵寺中学校区 高座小学校、不二小学校

坂下小学校及び高座小学校については、現在及び推計のいずれも適正規模の範囲内であり、ほぼ同じ規模か若干の減少で推移する。

不二小学校については、今後の増加傾向から適正規模を上回り大規模の状態が見込まれる。

神屋小学校については、現在、適正規模を下回っており、今後も同様の規模で推移するものと思われるが、全学年が単学級となるほど小規模化が進むものとはならない。

西尾小学校については、従来から単学級の状況にあり、今後も同様に推移する

中学校（2校）

坂下中学校、高蔵寺中学校

坂下中学校については、現在及び推計において適正規模の範囲内で、ほぼ同じ規模で推移する。

高蔵寺中学校については、不二小学校が増加傾向を示していることから、それに伴って増加の状態に向かうことが見込まれるが、適正規模の範囲内で推移する。

5 ニュータウン地区

小学校（11校）

- ア 藤山台中学校区 藤山台小学校、藤山台東小学校、西藤山台小学校
- イ 高森台中学校区 高森台小学校、中央台小学校、東高森台小学校
- ウ 石尾台中学校区 玉川小学校、石尾台小学校、押沢台小学校
- エ 岩成台中学校区 岩成台小学校、岩成台西小学校

西藤山台小学校、高森台小学校、玉川小学校及び岩成台西小学校については、現在及び推計においてもほぼ同じ規模で推移する。

岩成台小学校については、推計では適正規模を下回る状況になるものの、全学年が単学級となるほど小規模化が進むものとはならない。

藤山台小学校、藤山台東小学校、中央台小学校、東高森台小学校、石尾台小学校及び押沢台小学校については、現在、適正規模を下回っており、今後も同様の規模で推移する。

中学校（4校）

藤山台中学校、高森台中学校、石尾台中学校、岩成台中学校

高森台中学校については、現在及び推計において適正規模の範囲内で推移する。

藤山台中学校、石尾台中学校及び岩成台中学校については、現在適正規模を下回っており、推計においてもほぼ同じ規模で推移する。